



2023年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年3月8日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
コード番号 3180 URL <https://www.beautygarage.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役CEO兼COO (氏名)野村 秀輝
問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営管理グループ統括 (氏名)齋藤 高広 (TEL)03(6805)9785
四半期報告書提出予定日 2023年3月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期第3四半期の連結業績(2022年5月1日~2023年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第3四半期	19,133	11.6	834	6.3	837	6.7	540	26.6
2022年4月期第3四半期	17,141	27.7	784	20.9	784	9.2	426	5.2

(注) 包括利益 2023年4月期第3四半期 558百万円(24.3%) 2022年4月期第3四半期 449百万円(5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第3四半期	85.56	—
2022年4月期第3四半期	67.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年4月期第3四半期	10,733	5,937	53.3
2022年4月期	10,548	5,468	50.0

(参考) 自己資本 2023年4月期第3四半期 5,718百万円 2022年4月期 5,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年4月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2023年4月期	—	0.00	—	—	—
2023年4月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年4月期の連結業績予想(2022年5月1日~2023年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,013	15.4	1,407	17.1	1,410	16.1	850	19.7	134.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年4月期3Q	6,376,000 株	2022年4月期	6,376,000 株
2023年4月期3Q	59,968 株	2022年4月期	65,755 株
2023年4月期3Q	6,313,834 株	2022年4月期3Q	6,301,458 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全国旅行支援の実施によるサービス需要の活性化やコロナ禍での水際対策緩和によるインバウンド需要の回復等により、個人消費を中心に持ち直した半面、エネルギー料金や食品をはじめとする各種商品の値上げなど物価高による家計への影響もあり、引き続き厳しい経済環境で推移致しました。

美容サロン業界におきましては、コロナ禍での行動制限がなくなって以降、来店客数の増加や顧客単価の上昇など、緩やかではありますが回復基調が続いております。

そのような状況下、当社グループでは円安に伴う海外からの仕入れコストの増大、エネルギーコスト増や各種物価高等が経営成績に一定の影響を及ぼしておりますが、そうした中でも業界のデジタル化の進展を背景に、市場シェア獲得のために、商品ラインナップの拡充、サービス強化等による顧客利便性の向上、ITシステム投資などに取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は19,133,359千円（前年同期比11.6%増）、売上総利益は4,872,778千円（前年同期比8.5%増）、営業利益は834,000千円（前年同期比6.3%増）、経常利益は837,108千円（前年同期比6.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は540,231千円（前年同期比26.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業におきましては、インターネット通販サイト「BEAUTYGARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム&ストア+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」および各グループ会社を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン、フリーランスのビューティシャン向けに提供しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、ECサイトのUI/UXの着実な改善と進化を継続することに加えて、ECアプリの全面リニューアル、仙台支店の移転リニューアルOPEN、取り扱いブランドの拡充など、美容商材流通のプラットフォームとしての役割強化に注力した結果、EC売上高は13,060百万円（前年同期比22.9%増）、リピート商材である化粧品・材料売上高は8,912百万円（前年同期比24.0%増）と大きく成長することが出来ました。一方で、円安および原材料・輸送費高騰による原価率の上昇という課題にも直面しておりますが、スケールメリットの創出・販管費の圧縮等によって利益率低下の抑制に努めております。

この結果、物販事業全体としての売上高は15,724,621千円（前年同期比16.5%増）、セグメント利益は704,183千円（前年同期比13.3%増）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより、東京・金沢・名古屋・大阪・福岡の5拠点において店舗設計・工事施工管理を提供しております。トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計の提案を行うことで美容サロンをはじめとした独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、新規開業顧客に加えて、大手チェーン店本部からの受注も獲得してまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、採用強化によりデザイナーの数は充足に向かう一方で、一部の中堅社員が抜けた影響が未だ残り、案件受託数が落ち込んでいるため引き続き厳しい結果となりました。

この結果、当事業の売上高は2,253,165千円（前年同期比23.0%減）、セグメント利益は114,466千円（前年同期比42.6%減）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして、開業プロデュース、居抜き物件仲介、決済支援、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介、提携ビジネスカード、低コスト電力の供給等の各種ソリューションサービスを、各種専門WEBサイトと全国主要都市のショールームと法人営業部隊、各グループ会社を通して提供しております。これらは、物販事業、店舗設計事業との連動で顧客に対し、開業支援から経営支援まで幅広いサービスをワンストップで提供することが可能となっております。また、新たに当社のリソースを活用したメーカー/ベンダー向けマーケティング支援サービスを開始し、好評を博しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、店舗リース、提携ビジネスカード、損害保険をはじめ、各サービスが堅調に伸長したことにより、当事業の売上高は1,155,571千円（前年同期比60.6%増）、セグメント利益は156,317千円（前年同期比126.1%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、8,471,397千円となりました。これは、主に現金及び預金と売上債権は減少したものの、棚卸資産の増加があったことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、2,261,611千円となりました。これは、主に投資その他の資産は増加したものの、有形固定資産及び無形固定資産の償却による減少があったことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.4%減少し、3,560,446千円となりました。これは、主に仕入債務と未払法人税等の減少によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.3%増加し、1,234,615千円となりました。これは、主に長期借入金と契約負債の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて8.6%増加し、5,397,946千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少100,963千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加540,231千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月8日に公表いたしました通期の連結業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,686,739	2,635,961
受取手形及び売掛金	2,133,598	2,007,980
リース投資資産	146,279	181,156
営業投資有価証券	219,585	239,888
商品及び製品	2,320,436	2,608,403
仕掛品	119,720	124,734
前渡金	267,938	247,336
その他	332,030	442,723
貸倒引当金	△11,268	△16,788
流動資産合計	8,215,061	8,471,397
固定資産		
有形固定資産	495,768	361,501
無形固定資産		
ソフトウェア	368,140	327,054
のれん	361,218	295,181
その他	26,609	30,985
無形固定資産合計	755,968	653,221
投資その他の資産	1,081,331	1,246,888
固定資産合計	2,333,069	2,261,611
資産合計	10,548,130	10,733,008
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,637,216	1,302,230
短期借入金	15,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	418,252	450,420
未払金	383,073	319,751
未払法人税等	234,339	144,621
前受金	529,202	622,532
賞与引当金	75,516	203,608
その他	635,946	502,281
流動負債合計	3,928,547	3,560,446
固定負債		
長期借入金	810,852	834,615
退職給付に係る負債	6,919	5,925
契約負債	167,415	202,387
資産除去債務	60,877	65,148
その他	104,740	126,539
固定負債合計	1,150,805	1,234,615
負債合計	5,079,352	4,795,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	780,534	780,253
利益剰余金	3,822,488	4,261,755
自己株式	△104,307	△95,247
株主資本合計	5,267,100	5,715,147
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,185	3,144
その他の包括利益累計額合計	3,185	3,144
非支配株主持分	198,492	219,654
純資産合計	5,468,778	5,937,946
負債純資産合計	10,548,130	10,733,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2022年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2023年1月31日)
売上高	17,141,432	19,133,359
売上原価	12,652,446	14,260,580
売上総利益	4,488,985	4,872,778
販売費及び一般管理費	3,704,486	4,038,777
営業利益	784,499	834,000
営業外収益		
受取利息及び配当金	64	712
為替差益	284	137
受取手数料	3,060	3,028
助成金収入	2,660	775
債権譲渡益	-	6,098
その他	3,723	7,665
営業外収益合計	9,794	18,417
営業外費用		
支払利息	4,979	3,479
貸倒引当金繰入額	-	8,000
その他	4,624	3,830
営業外費用合計	9,604	15,309
経常利益	784,688	837,108
特別利益		
固定資産売却益	-	46,431
特別利益合計	-	46,431
特別損失		
投資有価証券評価損	-	3,291
減損損失	21,638	-
商品廃棄損	19,471	-
特別損失合計	41,110	3,291
税金等調整前四半期純利益	743,577	880,247
法人税、住民税及び事業税	291,827	355,381
法人税等調整額	10,297	△34,423
法人税等合計	302,124	320,958
四半期純利益	441,453	559,289
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,644	19,057
親会社株主に帰属する四半期純利益	426,808	540,231

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)
四半期純利益	441,453	559,289
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,862	△624
四半期包括利益	449,316	558,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	430,846	540,190
非支配株主に係る四半期包括利益	18,469	18,473

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	5,885,791	-	-	5,885,791	-	5,885,791
化粧品等	7,185,807	-	-	7,185,807	-	7,185,807
金属スチール家具	423,733	-	-	423,733	-	423,733
その他	-	2,926,664	719,434	3,646,099	-	3,646,099
顧客との契約から生じる収益	13,495,333	2,926,664	719,434	17,141,432	-	17,141,432
外部顧客への売上高	13,495,333	2,926,664	719,434	17,141,432	-	17,141,432
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,519	3,763	4,060	34,343	△ 34,343	-
計	13,521,853	2,930,427	723,495	17,175,776	△ 34,343	17,141,432
セグメント利益	621,364	199,571	69,133	890,070	△ 105,571	784,499

(注) 1. セグメント利益の調整額△105,571千円には、セグメント間取引消去27,442千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△133,013千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「物販事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結会計期間においては21,638千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	6,401,406	-	-	6,401,406	-	6,401,406
化粧品等	8,912,393	-	-	8,912,393	-	8,912,393
金属スチール家具	410,822	-	-	410,822	-	410,822
その他	-	2,253,165	1,155,571	3,408,737	-	3,408,737
顧客との契約から生じる収益	15,724,621	2,253,165	1,155,571	19,133,359	-	19,133,359
外部顧客への売上高	15,724,621	2,253,165	1,155,571	19,133,359	-	19,133,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,367	15,547	9,950	41,865	△ 41,865	-
計	15,740,988	2,268,713	1,165,521	19,175,224	△ 41,865	19,133,359
セグメント利益	704,183	114,466	156,317	974,967	△ 140,966	834,000

(注) 1. セグメント利益の調整額△140,966千円には、セグメント間取引消去21,508千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162,474千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2023年3月8日開催の取締役会において、当社を存続会社、当社の完全子会社である株式会社和楽を消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被結合企業の名称及び事業内容

名称：株式会社和楽

事業の内容：美容業務用品等の卸売業

(2) 企業結合日

2023年5月1日（予定）

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社和楽を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業名称

株式会社ビューティガレッジ

(5) 企業結合の目的

グループ内の経営資源の集約化及び効率化を行うことにより、更なる営業・サービス体制の強化を図ることを目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理する予定です。